

## (5) その他

### 1) 補習授業

工学部は 29 年度補習授業として下記のように実施した。

#### ・補習教育:

29 年度は、入学式の翌々日の 4 月 6 日(木)に、全新入生に対して物理・化学・数学の基礎学力テストを実施した。教員の負担軽減のためにマークシート方式とし、採点集計については外部委託した。成績については Moodle に入力し、学生個人が自らの成績を閲覧できるようにした。前年度と同様、物理・化学・数学について、成績下位約 10%の学生および希望する学生に対して補習授業を実施した。本年度は、4 月 19 日に全体のガイダンスを行い、全体のスケジュールと補習授業の位置づけを説明し、学生の意識を高めた。数学の補習授業は 4 月 27 日から 7 月 20 日まで 11 回、物理は 4 月 27 日から 7 月 12 日まで 10 回、化学は 4 月 24 日から 7 月 10 日まで 10 回、それぞれ実施した。出席状況は毎回チェックし、欠席した学生に対しては、今年度から工学部教務担当より Moodle にて本人に通知するようにした。出席率は昨年度とあまり変化は見られず、物理 89%、化学 88%、数学 71%であったが、Moodle で連絡することで、学生への意識付けはできた。また、補習授業終了時に補習授業に対するアンケート調査を行うとともに、物理および化学については到達度試験を実施して補習授業の成果について検証を行った。その結果、一定の効果が得られていることが確認された。

#### ・基礎解析(留学生科目):

前学期と後学期でそれぞれ留学生を対象に開講した。ほぼマンツーマンに近い形で個々の学生の苦手とする数学科目、高校数学の復習から工学専門科目に用いる数学、特に「微分積分」「線形代数」の内容について、講師による丁寧な解説と問題演習の反復により、学生の理解の促進を図った。また、数学教育に加えて、プレゼンテーション演習を授業に組み入れることで、留学生の日本語コミュニケーション能力の向上も目指した。